

オートカラーアワード2025 開催概要



2025年12月12日・13日

主催：一般社団法人 日本流行色協会 Auto Color Awards2025

目次

オートカラーアワード2025 応募要項

開催概要	P3
開催趣旨	P4
スケジュール	P5
委員一覧	P6
組織図	P7
審査委員	P8
審査方法	P9
応募要項	P10
広報・PR	P11

名 称	AUTO COLOR AWARDS 2025 (オートカラーアワード2025)	
開催	2025年12月12日（金）～13日（土）	
会 場	東京国際交流会館 プラザ平成 〒135-8630 東京都江東区青海2-2-1 TEL:03-5564-3030	
主 催	一般社団法人日本流行色協会	
協 賛 (昨年実績)	長瀬産業株式会社／DIC株式会社／東レ株式会社ウルトラスエード事業部／クルツジャパン株式会社／大日精化工業株式会社／トーヨーカラー株式会社／株式会社オリジン／武蔵塗料株式会社／スミノエティンテクノ株式会社／東洋アルミニウム株式会社／松崎化成株式会社／ダイハツ工業株式会社／ヤマハ発動機株式会社／公益財団法人北播磨地場産業開発	
後 援 (昨年実績)	国土交通省、日本商工会議所、東京商工会議所、公益社団法人日本インダストリアルデザイン協会、一般社団法人日本インテリア協会、公益財団法人日本デザイン振興会、一般社団法人日本自動車工業会、日本自動車輸入組合、一般社団法人日本テキスタイルデザイン協会、一般社団法人日本塗料工業会、一般社団法人日本自動車販売協会連合会	
協 力	カワサキモータース株式会社、スズキ株式会社、株式会社SUBARU、ダイハツ工業株式会社、トヨタ自動車株式会社、日産自動車株式会社、株式会社本田技術研究所、マツダ株式会社、三菱自動車工業株式会社、ヤマハ発動機株式会社	
運 営	一般社団法人日本流行色協会 オートカラーアワード2025運営委員会	
参加者	企業で商品開発やカラーデザイン開発に携わる方、カラーやデザインに関心のある一般の方・学生、マスコミ	
賞の種類	グランプリ、準グランプリ ※特別賞を設ける場合がある。	
	 	
募集対象	2024年12月15日～2025年12月末日までに、一般消費者が購入（リース）できる旨を発表している、日本国内市場に向けて販売されるモビリティのカラーデザイン	

Good Color For Good Car いい車は色が美しい

豊かで情感に富んだ色彩は、何も芸術品だけに存在するものではありません。歴史と伝統に育まれた社会文化を持つ国は、芸術だけではなく、さまざまな商品にも情感に富んだ優れた色彩を生み出すことができるものです。色彩の持つ豊かさとは、いわば、その国が持つ社会文化の豊かさそのものと言えます。

オートカラーアワードとは

モビリティのカラーデザインの企画力や、形との調和を含む、内外装すべてのカラーデザインの美しさを評価する顕彰制度で、1998年からはじまり今年で27回目を迎えます。

モビリティのカラーデザインは、CMFG（カラー、マテリアル、フィニッシュ、グラフィック）、ライフスタイル、安全性など様々な分野を視野に入れプロダクトデザイン業界の最新技術を開拓し、デザイン開発をおこなっており、社会環境、経済、他の業界のデザインに対しても大きな影響力を持ちます。

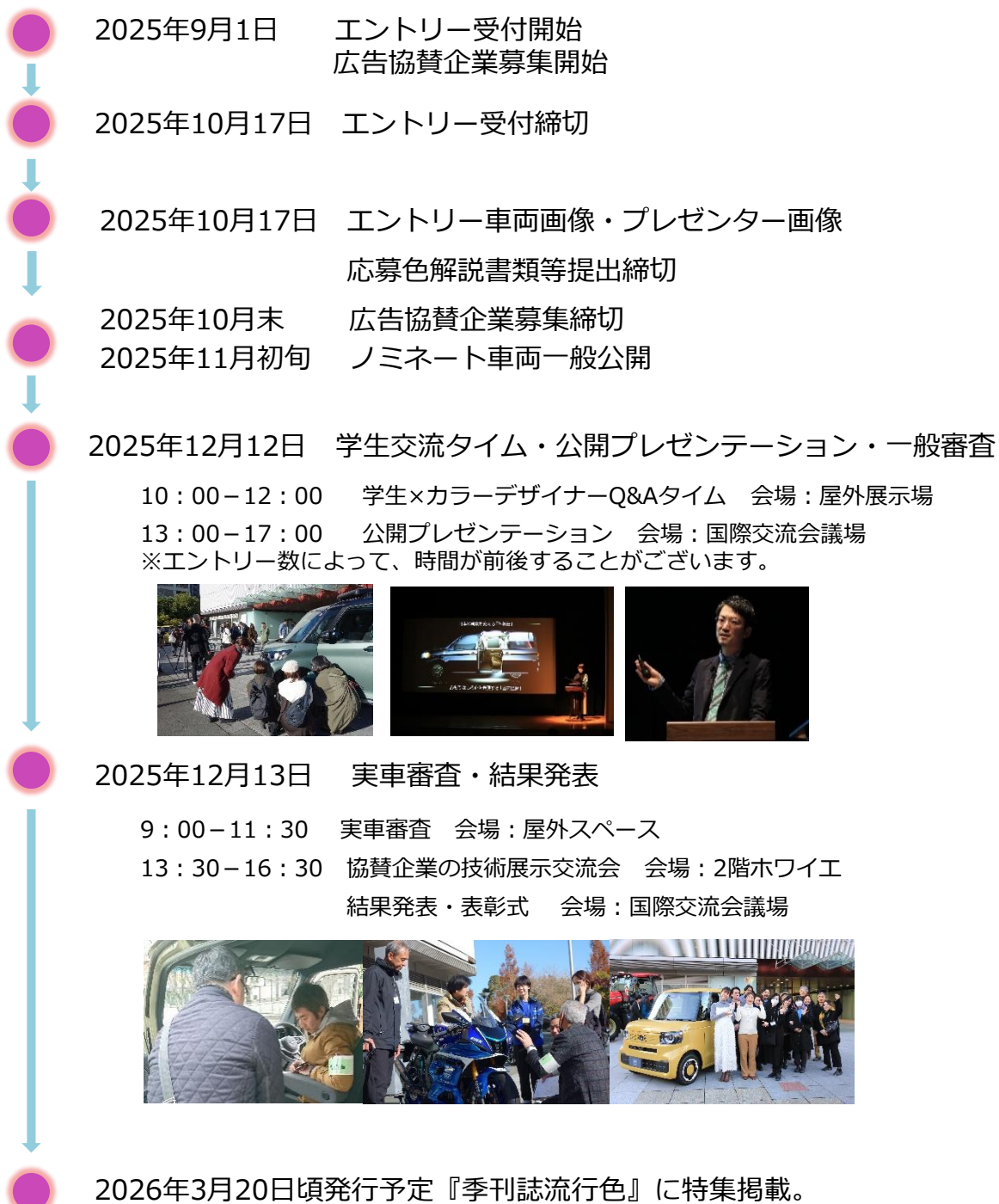
このようなモビリティのカラーデザインの中で、今年最も魅力的なモビリティのカラーデザインを表彰し、その考え方や成果を他業界や社会とシェアする機会を創出することにより、日本のカラーデザイン全体の向上をめざしています。

COLOR Makes Value JAFCAは、色で新しい価値を創造します。

生活の中で志向される色彩は時代とともに遷り変わり、その時代の人々の意識を反映しています。私たちは優れたカラーデザインを広く伝え、情感豊かな生活の実現をめざしています。



開催スケジュール（エントリーから結果発表まで）



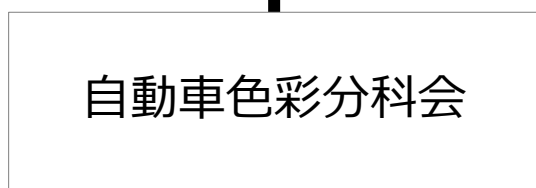
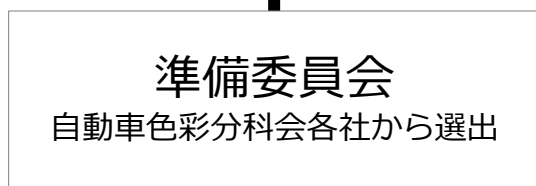
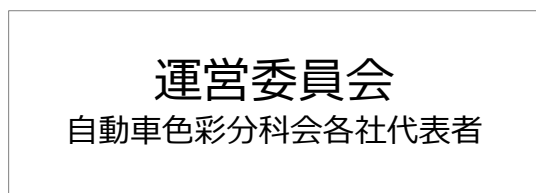
運営委員会 ※日本流行色協会 自動車色彩分科会メンバー企業から1名ずつ選出

幹事	西井 喬哉	株式会社SUBARU 経営企画本部 価値づくり推進室 デザイン部
委員	菊地 秀樹	カワサキモータース株式会社 企画本部 デザイン部 CMF課 課長
	邊田 紘一	スズキ株式会社 商品企画本部 四輪デザイン部 CMFデザイン課
	平井 伸明	ダイハツ工業株式会社 デザイン部 プロダクトクリエイイト室 CMFグループ 主担当員
	岡地 史瑛	トヨタ自動車株式会社 カラー&感性デザイン部 主任
	吉富 京	日産自動車株式会社 グローバルデザイン本部 アドバンスドデザイン部 デザイン マネージャー
	坂田 裕基	株式会社本田技術研究所 デザインセンター モーターサイクル・パワープロダクツデザイン開発室 プロダクトデザインスタジオ チーフエンジニア
	田嶋 暢子	株式会社本田技術研究所 デザインセンター e-モビリティデザイン開発室 テクニカルデザインスタジオ チーフエンジニア
	宇多川 舞	マツダ株式会社 デザイン本部 プロダクションデザインスタジオ カラー&トリムデザイングループ 主幹
	南 清隆	三菱自動車工業株式会社 デザイン本部 デザイン・戦略部 カラーデザイン マネージャー
	中山 ルミ	ヤマハ発動機株式会社 クリエイティブ本部 プロダクトデザイン部 CMFGグループ グループリーダー

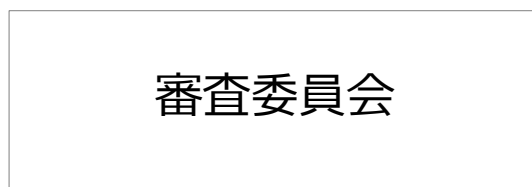
準備委員会 ※日本流行色協会 自動車色彩分科会メンバー企業から1名ずつ選出

和田 あい（カワサキモータース㈱）、伊藤 仁美（スズキ㈱）、佐藤 良（㈱SUBARU）、
 近藤 悠香（ダイハツ工業㈱）、伊藤 なごみ（トヨタ自動車㈱）、武田 圭司（日産自動車㈱）、
 秋山 ゆかり・平井 穂（㈱本田技術研究所）、細野 明洋（マツダ㈱）、
 佐藤 亜希子（三菱自動車工業㈱）、赤川 俊一（ヤマハ発動機㈱）

<開催を実施する>



<賞を決定する>



審査委員 3名

自動車色彩分科会各社代表者 10名

一般審査委員 約100名





大日方伸 おびなたしん
株式会社積彩 CEO

1996年東京生まれ。慶應義塾大学環境情報学部卒業後、同大学政策・メディア研究科x-Designコース修了。

東京藝術大学芸術情報センター教育研究助手勤務後、2022年に株式会社積彩を創業。3Dプリンティングを駆使し、工法から色彩現象をアップデートする研究・制作を実践している。

主な受賞歴に2020年富山デザインコンペティショングランプリ、Innovative Technologies2022受賞、Design Shanghai2024 Picks Award受賞など。



河口まなぶ かわぐちまなぶ
自動車ジャーナリスト

自動車ジャーナリストとして専門誌・一般誌・新聞・WEB等に寄稿。同時にラジオ・テレビ等に出演。2008年にYouTubeチャンネルを開設。その後チャンネル名を「LOVECARS!TV!」へ変更して以降活動を動画中心とし、YouTubeにおける自動車系ジャンルの先頭となり現在に至る。現在チャンネル登録者数は56万人。

1997年～日本自動車ジャーナリスト協会（AJAJ）会員

2002年～日本カー・オブ・ザ・イヤー選考委員

2023年～ワールド・カー・アワード選考委員



小木曽珠希 おぎそたまき
一般社団法人日本流行色協会 クリエイティブディレクター

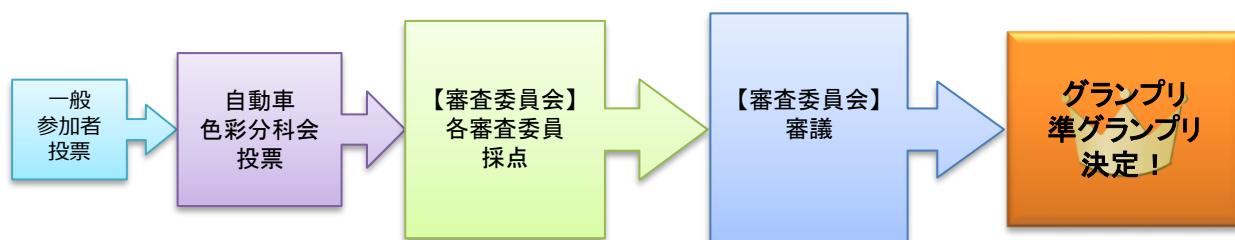
レディスウェアを主に、メイクアップやプロダクト・インテリアのカラートレンド予測・分析、カラー戦略策定、トレンドカラー監修、カラートレンドリポート&セミナー（分析セミナー）実施、カラーコンセプトやカラーイメージの作成、カラーディレクション、新商品や既存商品を活かしたカラーコーディネート提案等、幅広く活動中。インターカラー日本代表。

審査方法

カラーデザイナーによるプレゼンテーションと、実車により審査を行ないます。
公開プレゼンテーション一般来場者、自動車色彩分科会代表メンバーの得点投票と審査委員の得点投票の合計、審査委員の審議によりグランプリを決定いたします。

※投票については、自動車色彩分科会メンバーは自社には投票できないこととします。

本年度は得点方式をリニューアルいたします。
詳細は決定し次第、お知らせいたします。



審査視点

今年最も魅力的なモビリティのカラーデザインは？

- 市場に影響を与えたか。（環境・テクノロジーなど）
- モビリティのカラーデザインとして企画／発想が優れているか。
- デザインの企画／発想が他業種の手本となりえるか。
- 従来にない色域に挑戦して成果をあげているか。
- 狙い通りのカラーが表現されているか。
- モビリティ全体でカラーの調和が考えられているか。

発表及び授賞

審査終了後、会場にて即日発表

応募資格	①カラーデザイン開発に最も注力した、日本国内市場に向けて販売されるモビリティのカラーデザインで、2024年12月15日～2025年12月末日までに、一般消費者が購入(リース)できる旨を発表しているモビリティであること。 ②日本国内市場向けに、生産、販売、輸入されたカラーデザインであること。 ③審査当日に実車を展示できること。
応募方法	指定のエントリー申込書に必要事項を記入の上、メールにて事務局までお送り下さい。
受付期間	2025年9月1日～2025年10月17日
応募締切	2025年10月17日
応募費用	JAFCA自動車色彩分科会メンバー ￥605,000(税込) 【費用に含まれるもの】 ・プレゼンテーション2点まで、展示台数2台まで(※会場により変動あり) ・プレゼンター、審査委員を含む5名分参加費(プレゼンテーション～懇親会まで)。 ・展示台数3台目以降は1台につき四輪車 ￥165,000(税込) 二輪車 ￥55,000(税込) ※ただし、会場により台数制限があります。
提出物	・応募色解説書(指定フォームに記入) ・応募車サイト用QRコードおよびURL(JAFCAサイト・ポスター掲載用) ※色はモノクロでお願いします。 ・エクステリア、インテリア高解像度データ (プレスリリース・Web等に掲載、解像度350dpi サイズ天地120mm以上の横位置) ・カラーデザイナーの顔写真 (季刊誌『流行色』等で紹介、解像度350dpiサイズ縦60mm×横50mm以上) ・カラーデザイナーのプロフィール (季刊誌『流行色』等で紹介300文字程度指定フォームに記入) ・機器使用届出表
留意点	※プレゼンテーションに使用する画像等は、著作権法に触れないものを使用すること。 (そのまま投影しても問題ない状態で提出すること。) ※展示車両の搬入・搬出は自社で行なうこと。 ※展示車両に万が一の事態が発生しても、JAFCAでは責任を負えません。 保険をかける等、各社ご判断ください。 ※イベント中に撮影した写真は、広報資料・SNS等に使用いたします。 写る可能性がございますので、ご了承ください。 ※エントリー後のエントリー取り下げは基本的にお受けいたしかねますので、予めご了承ください。何かありましたら事務局までご相談ください。
申込先	一般社団法人日本流行色協会 〒105-0012東京都港区芝大門1-1-33 三洋ビル5F 電話：03-6721-5120 FAX：03-6721-5175 mail：takeda@jafca.org

広報活動について

- ニュースリリース（開催告知・グランプリ授賞）をメール配信。（約450社）
- 季刊誌「流行色」に受賞結果の掲載。（購読数約1,000社）
- 一般誌、女性誌、車雑誌に案内、告知を配布。（約200社）
- 自動車記者クラブに、案内、受賞結果配布。（約40社）
- 美術館へ案内、告知を配布。（約20社）
- デザイン系大学、専門学校へ案内、告知、ポスター配布。（約80校）
- J A F C Aウェブサイトにて無料で掲載。各社ウェブサイトへのリンク。

※本イベントにはマスコミ・各社広報誌の取材が入る場合があります。
イベント会場で撮影された写真やイベント終了後お送りいただいたレポートは、
新聞・雑誌・JAFC A季刊誌・Webなどに掲載される場合がありますことをご了承ください。

受賞社について

- 当該年度のグランプリを獲得したメーカーには、広告、宣伝等にその事実とオートカラーアワードのウィナーマークを使用できます。マーク使用については、別に定める表記基準に従ってください。

ロゴマーク使用について

- 当該年度のノミネートメーカーとJAFC A自動車色彩分科会メンバーは、広告、宣伝等にオートカラーアワードロゴマークを使用できます。表記については別に定める基準に従ってください。



ロゴマーク



Winnerマーク